No.6- 節分会

豆をまく祭りとしても知られる節分は、春の始まりである立春の２月３日に行う行事です。日本の寺や家庭では、邪気を払い、慶事を祈るために、「鬼は外、福は内」と唱えながら豆をまきます。

しかし、金峯山寺の節分会では、日本全国で追い出された全ての鬼たちを寺に迎え入れて改心させることから、「福は内、鬼も内」と唱えます。この変わった節分の伝統は、修験道の開祖、役行者（634–701）が前鬼と後鬼という二匹の鬼を捕らえ、改心させたという伝承によるものです。

そのほか、この金峯山寺の節分会における見所として、本堂である蔵王堂で行われる鬼踊りと、それに続いて行われる、「護摩」という火を使った迫力のある儀式があります。そして最後に豆まきが行われます。